

2026年度 看護部教育委員会業務計画

教育方針 年度目標	1. 学びあえる教育環境で、自己成長を支援する。 2. 専門職業人として必要な能力を養うため、教育体制を整備し、キャリアアップを目指す。 3. 理論に基づいた看護実践力を高め、日々の看護に生かす。														
	1. 看護・介護に必要な学びの場を提供する。 2. 看護倫理に基づいて看護を提供する看護職員を育成する。 3. 組織の一員としての態度を養い、常に学ぶ姿勢を維持する。(院外・院内研修参加 e-ラーニング活用)														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	担当者	備考	
技術支援			排尿エコー (検査課)	心電図 (検査課)	ポジショニング (OT)		摂食嚥下 (PT)	AEDの使い方 (ME)	AEDの使い方 (ME)				コメディカル	ベーマースメーカー 呼吸器の取り扱い 心電図 排尿エコーの仕方	
現任教育	看護(院内研修)		感染対策		看護補助者の活用促進		倫理研修						主任会	緩和看護師 12月・1月	
		下部尿路解剖		看護補助者の活用促進		25.看護必要度		認知症看護							
				医療安全養成研修				NST研修	認知症看護						
		認知症看護		看護管理者研修		意思決定支援		認知症看護							
	管理者(候補者)研修					スタッフの育成研修			ファーストレベル受講者選出	ファーストレベル申し込み					
看護補助者(野原)	集合研修	別紙参照											主任会	看護補助者会と連動	
新入職者教育 (教育委員・各病棟担当者)	オリエンテーション	別紙参照											主任会 教育委員会	次年度4月実施 の新入職者オリ エンテーションを 主任会と協働で 内容検討	
	看護技術教育														次年度新入職者教育計画作成
	技術チェック(入職時)														技術教育者選定・教育準備
	中途入職者(各病棟・教育委員)	未経験者	プリセプターにて技術教育、技術チェックを実施〇〇後に夜勤ができる(個人の状況により変更あり)												病棟課長
経験者	プリセプターにて技術教育、技術チェックを実施〇〇後に夜勤ができる(個人の状況により変更あり)														
看護研究発表 (主任会教育委員会協働)				研究計画書提出					抄録集録提出			研究発表			
												3月予定			
院内研修	感染	医療安全	身体拘束	褥瘡									* 上記4項目は2回/年の必須研修実施。研修日時は各委員会と調整、e-ラーニングも活用。		
													接遇研修(総務)		
自己研修(e-ラーニング)	各所属部署	* 各課長は、課題提示された履修状況確認。(年間を通して教育委員会からも課題提示)												年度末教育委員会評価	
	各委員会	各委員会委員長にて履修課題提示・履修チェック(2回/年必須研修活用)													